

JR連合

社員で考え社員のための労働運動を目指す企業内労働組合。
心とところをつなぐ相互扶助活動と、公正な社会を創ります。

ジェイアール・イーストユニオン
仙台地本本部



JREユニオン仙台地本

発行責任者 添田 寿男
編集責任者 齋藤 勝彦

〒984-0051 宮城県仙台市若林区新寺2丁目1-20 桜井コーポ405号室
TEL 022(352)4679 (FAX兼用)

第6回地方委員会開催



ジェイアール・イーストユニオン仙台地本本部は第6回地方委員会を2月22日仙台市内において開催した。委員会構成員はもとより、多くの傍聴者・OBが参集した。



挨拶をする島田議長

議長に島田地方委員を選出し、第7回定期大会以降の取り組みについて点検をし、20春闘勝利など当面する活動方針について、満場一致で採択された。



添田執行委員長

添田執行委員長挨拶(要旨)
第6回地方委員会にご参集いただいた地方委員、そして傍聴者の皆さんに御礼申し上げます。

この冬は記録的暖冬となり私たちにとっては、雪害がほぼない状態で大変ありがたい状況であります。異常気象は昨年の台風15号、19号にみられるように想定外の

状況と甚大な被害をもたらします。防災、減災の備えは今後ますます重要と考えます。

東日本大震災から間もなく9年となります。3月14日のダイヤ改正では常磐線の浪江〜富岡間が運転を再開し全線の開通がなされます。しかし、未だに避難されている方が約4万8千人と言われている中で、復興はまだまだ道半ばである現実があることを忘れてはなりません。

新型コロナウイルスの猛威が世界中に拡大しています。日本国内でも日を追うごとに感染者が増加し、国民の不安が増す中で、感染者への治療と封じ込め対策が重要であります。

また、2019年10月〜12月の(GDP)国内総生産速報値が、6.3%減と1年3ヶ月ぶりにマイナスとなり、新型コロナウイルスの影響もあり、日本経済の低迷が長期化する懸念が強まっています。通常国会が開会中ですが、この現状をどう打開

緊急申し入れ!

新型コロナウイルス感染防止

ジェイアール・イーストユニオン仙台地本本部は仙台支社へ、2月25日「新型コロナウイルス感染拡大に伴う」申し入れを行った。
新型コロナウイルスの感染は世界中に拡大を続け、日本国内においても感染拡大が止まらず、今後全国的に感染、発症が予想されます。会社は、「新型コロナウイルス対策本部」を設置し、感染防止に向けた対策や、注意喚起を発し、マスクの配布、除菌、消毒用品の設置、食事や休養をしっかりと取り取るよう呼び掛けています。

しかし、公共交通機関としての当社は感染リスクが高く、社員、家族の不安は高まりをみせています。そうした不安の解消を図ること、感染防止に向けた対策、感染が発生した場合の対応を労使で現状認識を一致させることが重要と考えます。

1 国内における新型コロナ

2 この間の感染拡大防止対策、また、社員に對し現在実施している具体的な対策を明らかにすること。

3 業務中のマスク着用の徹底と、各箇所消毒液の設置を早急を実施すること。また、消耗切れとならないよう、十分な個数を確保すること。

4 駅、車両の清掃、除菌について対策を具体的に明らかにすること。

5 感染が発覚した場合の対策を具体的に示すこと。また、発覚した場合の勤務の取り扱いについて明確にすること。

6 検体検査を希望する社員、または、全社員に検体検査を希望する社員、または、全社員に對して実施することがあるか。また、検査費用について明らかにすること。

7 関連会社、協力会社等、グループ会社への対応を明らかにすること。

8 検体検査を希望する社員、または、全社員に對して実施することがあるか。また、検査費用について明らかにすること。

9 関連会社、協力会社等、グループ会社への対応を明らかにすること。

10 検体検査を希望する社員、または、全社員に對して実施することがあるか。また、検査費用について明らかにすること。

11 関連会社、協力会社等、グループ会社への対応を明らかにすること。

12 検体検査を希望する社員、または、全社員に對して実施することがあるか。また、検査費用について明らかにすること。

し、一刻も早く正常な状態に戻さなければならぬ時に、与党、野党ともに真剣に議論、対策がなされているのか疑問に感じるのは私だけでしょうか。

この厳しい社会情勢の中で、2020春季生活闘争が始まりました。このような情勢であるからこそ、しっかりと議論し取り組み、要求を勝ち取る事が重要です。皆さまの真摯な議論と、積極的な取り組みにご協力をお願いいたします。

今から6年前、「ジェイアール・イーストユニオン」が結成されました。

結成アピールに「私たちに課せられた役割は、労働組合としてこの時代を継承し、JR東日本の未来に向けた次世代の社員の育成、それに相応しい労働組合の構築にある。本日ここで新たにスタートし、積極果敢に進進していかねばならない。JR東日本の中で第一組合 責任組合に躍進できるように、残りの鉄道人生に覚悟を持って参画者全員で取り組む」と述べられています。

私たちはこの間一貫して、JR東日本の中に民主的労働運動を根付かせ、発展させる取り組みを実行してきました。しかしながら、JR東日本会社とJR東労組の蜜月が30有余年続き、経営陣が国会でJR東労組の過激派革マル派浸透疑惑の追求には、「思想信条は個人の自由」などと、公共交通機関の経営者とは思えない発言がなされました。18春闘のスト権騒動から、会社は東労組との蜜月を解消し、労使共同宣言の失効により、3万5千名の組合員が脱退。さらには、本年2月10日本部と組織運営で対立してきた、東京、八王子、水戸の組合員が中心となりJR東日本内で12番目となる、JR東日本輸送サービス労働組合なるものが結成されました。一連の騒動から組織混乱に見せかけた、革マル派の組織温存策の一環とみられています。そして、本日2月22日、新産別を発足させると表明するなど、今後他の労働組合の動向に注意が必要である

することは勿論、第2のJR総連化、そしていつの間にか一緒になっていたなど、笑えない事態となりかねません。国鉄改革から間もなく33年が経過しますが、未だに国鉄の負の遺産である労働組合の離合集散、イデオロギーに翻弄され続ける労働組合等、何一つ解決していかないばかりか、ますます混迷を深めています。JR東日本内で、自由にして民主的労働運動を実践しているのは、私たちジェイアール・イーストユニオンのみでありません。他の11組織は階級闘争、左翼労働運動に明け暮れています。また、7割の社員が組合未加入者であることは、JR東日本内だけの問題ではなくなってきました。他のJR会社でも、組合不要論が噴出し、更には、日本労働界にも波及しています。会社は東労組瓦解後「変革2027」をはじめめとして、ここぞとばかりに様々な施策を出し改革を進めようとしています

すが、真にこれに向き合つて前に進むには、絶対的に民主的労働組合と車の両輪となり進めなければ目的を達成できないばかりか、失敗する恐れすらあります。私たちには、結成アピールを承認した責任、定期大会方針に対し、実行する責任があります。全組合員で「前へ」進む、そしてJR東日本の中に民主的労働運動をしっかりと確立する。結成時の気持ちと、今一度思い起こし、組織拡大へ向け全組合員で行動しようではありませんか。私たちはこれまでこの運動に自信と確信、そして信念を持って取り組んできました。まずは自分の職場の社員の人たちへの声掛けをする。組合員一人ひとりが奮起し実行に移してはじめて組織拡大が成されます。この変革の時代に大きく躍進を成し遂げる。この決意を申し上げ地方本部執行部を代表してのご挨拶と致します。

地方委員からの発言

佐藤地方委員



白石駅の業務委託について、運転業務の教育訓練を事態に合わせてしっかりと計画して欲しい。

石井地方委員



問題点の中身を突き詰めて議論をし会社へ投げかけよう、組合員への牽引力となる。

水間地方委員



20春闘厳しい情勢だ本部をしっかりと支援し

よう。グループ会社等で若手や中堅層の離職が増加している。安心して意欲を持って働き続けられる雇用環境を整備しよう。民主的労働組合、集团的労使関係の重要性について語り理解を広めよう。

2020春季闘争ジェイアール・イーストユニオンの要求

『賃金引き上げ要求』

- 1 賃金引き上げについて
- (1) 定期昇給を実施すること。
- (2) ベースアップを3,000円。月例賃金総額6,000円以上引き上げること。
- (3) エルダー社員及び契約社員についても、社員に準じて賃金を引き上げること。
- 2 グループ会社に対する契約単価を見直し、グループ会社社員の賃金引上げに寄与すること。
- 3 上記申入れに対する回答期限を、2020年3月12日までにする。



『労働条件に関する協約の改訂要求』
 1 労働条件に関する協約の改訂要求について
 (1) 就業関係
 ① 特別休日の付与日数(第57条第2項)
 現行、「年間62日付与」を「年間65日付与」と改正すること。
 ② 年次有給休暇使用単位(第83条第1項)半日単位の使用について、該当する事由の各号を削除し、使用用途の制限を

委員会宣言(案)

本日、私たち、ジェイアール・イーストユニオン仙台地方本部は、ホテルレオパレス仙台において「第6回地方委員会」を開催し、安全の確立、2020 春季生活闘争勝利、組織強化・拡大の取り組みについて、当面する活動方針を満場一致で決定した。

安全の確立は、労使にとって取り組むべき最優先課題である。グループ会社も含め全てのJR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロを目標に取り組みを進めていく。福知山線列車脱線事故、羽越本線列車脱線事故、飯山線大根原踏切事故など、重大事故を決して風化させず、教訓とし、安全最優先の企業風土・職場風土を構築していかなければならない。なおも多くの労災事故が発生している現状を真摯に受け止め、労働組合としてのチェック・提言機能を発揮し、安全は絶対に譲らないとの信念のもと、技術継承・人材育成問題も含めた議論を進めていく。

2020 春季生活闘争は、JR連合の統一ペア要求 3,000 円を求めるとともに、月例賃金に関わる労働条件向上をめざしていく。JR東日本はもとより、底上げ・底支え、格差是正に向け、グループ会社への波及をはかり、JRに働くすべての労働者のディーセント・ワークの実現と、魅力あるJR産業を創り上げなければならない。喫緊に押し迫る人材確保といった課題を乗り越えるためにも、今次、総合労働条件改善闘争に勝利することが、労働組合に課せられた役割であるとの認識で、JR 連合の旗のもと、JR 東日本において団結し、強化した取り組みをはかっていく。

JR東日本における労働情勢は、JR東労組が瓦解して以降、大きな変容を見せている。最近では、反本部派と言われる組合員らが、新たな組合を立ち上げ、さらに先鋭化した組織と会社との対立が始まろうとしている。組合無所属が7割を占め、JR革マル派浸透問題も抱える状況にあって、多くの問題が払拭されない現状に、最大の警鐘を鳴らさざるを得ない。私たちは、企業内労働組合運動を進める中で、会社とともになる発展をめざし、正当な配分を求め、組合員・家族の幸せの実現をめざしている。未組織労働者や社友会では、会社を、そして、自らも守ることはできない。私たちの理念への理解と賛同を得ることにより、私たちJREユニオンが主軸となるべく、今こそ前へ！一人ひとりの実践を、一つひとつ結実させ、躍進へと繋げていくものである。

私たちの信念は変わらない。真の労働組合運動を押し進め、あらゆる運動を連動し組織拡大に繋げていかなければならない。JR 連合への総結集を成し遂げ、会社とそこに働く者の明るい未来を創造するために、仙台地方本部は丸となり、飛躍を遂げるべく邁進していく

以上、宣言する。

2020年2月22日

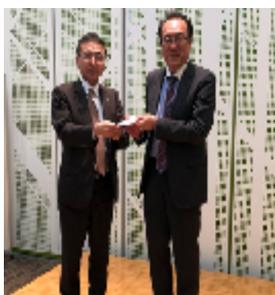
ジェイアール・イーストユニオン
 仙台地方本部
 第6回地方委員会

緩和(撤廃)すること。
 併せて、請求手続(第84条第2項)について、半日単位の使用については、前日までとすること。また、時間単位の取得を可能にするなど、制度の運用改善を図ること。
 ③ 保存休暇の使途(第87条第2項)保存休暇の使途について、該当する各号を削除し、

使用用途の制限を緩和(撤廃)すること。
 ④ 保存休暇の効力(第87条第4項)エルダー社員の保存休暇については社員から引き続き勤務しているものとして取り扱う。を加えること。
 (2)賃金関係
 ⑤ 所定昇給額(第261条)毎年4月1日に実施する

「所定昇給額」について、各級一律に
 1、000円を増額すること。
 ⑥ 割増賃金について(第327条)割増賃金の単価を平日・B単価を140/100へ、D単価を150/100へ、E単価を160/100へそれぞれ引き上げること。

⑦ 出向手当(第14条)60歳未満の出向者に対し、若年出向手当を支給すること。また、特にグループ会社社員の指導育成にあたる出向社員に対しては指導教育手当を支給すること。
 (3)退職手当関係
 ⑧ 退職手当の算定基礎給となつている第二基本給を廃止すること。



退職した三瓶氏に
 記念品贈呈



安西OB会会長の挨拶



⑨ 定年退職日を翌年の7月に統一すること。
 終了後の懇親会